

木口記念会館だより

第20号
平成28年6月17日発行

700名を超える来場者

障がい者アートでつなぐ地域交流の一日

障がい者によるアート作品の展示と、多彩な楽しい企画を盛り込んで、木口福祉財団主催の地域交流イベント「アートフェスタ2016」を5月22日(日)に木口記念会館で開催いたしました。

好天にも恵まれ、地域の方やチラシを見て遠方からのご来場もあり、700名を超える大勢の人でにぎわいました。

今回ご協力いただいた障害者団体、市民団体は全部で10団体、遠くは小野市の障害者就労継続支援事業所の利用者、職員のみなさん、名産「吊るし玉ねぎ」とともに海を渡って淡路島の洲本市からもご参加いただきました。

1階多目的ホールの展示ブースには油絵、水彩画、切り絵、毛筆、造形物と大小合わせて180点が展示され、多くの方が個性的な作品を熱心にのぞき込み感嘆の声をあげていました。

そして1階交流ホールでは、障害者支援団体の授産品、農作物、フェアトレードの日用雑貨品などのお店に自然と人が集まり、あちこちで会話が花が咲きました。



お店以外では、車いすの人や作法を全く知らない人でも気軽にできる「イスに座ったままの茶道体験」コーナーは、人だかりが絶えず、障がい者の書いたイラストの色が一瞬で消えてしまう手づくりの「からくりおもちゃ」は小さいお子さんに大人気でした。

このように、去年までの「アート展」から「アートフェア（お祭り）」に変えたことで、今までにない多くの方々にご来場いただけたと考えております。

最後になりましたが、今回ご協力いただいた、芦屋特別支援学校、芦屋みどり作業所、淡路自立サポートクラブ、いちごいちえ、あとりえすずかけ、武庫川すずかけ作業所、咲くら工房、ざくろ作業所、地域活動支援センター地球屋本舗、つとポート、のみなさまに心より感謝いたします。

（文責 上田）



恒例の地域イベント今年も開催！

第7回あしや保健福祉フェア このまちがすき～つながりをひろげよう～

日 時 平成28年7月23日(土)10:00～17:00

会 場 はなみずき芦屋(芦屋市保健福祉センター・あしや温泉・木口記念会館)

内 容 保健福祉に関する講演会・パネル展や体験コーナー バザー・スタンプラリーなど

主催 芦屋市・あしや保健福祉フェア実行委員会

お問合せ 芦屋市福祉センター ☎ 0797-31-0612

木口記念会館ご利用団体 活動紹介

#6 『認定特定非営利活動法人フードバンク関西 (兵庫県芦屋市)』 理事長 浅葉 めぐみ さん

みなさんは、まだ美味しく安全に食べられるのに、外箱が壊れた、ラベル印字ミス、少し形が悪い、売れ残ったという食品が「商品として扱えない」という理由で、また家庭では「食べきれない」という理由で、大量に廃棄されていることをご存知ですか？その量はなんと1年間に500万トンから800万トンにも達し、それは日本のお米の年間総収量(850万トン)にほぼ匹敵する量になっています。その一方で、非正規雇用が増加し、不安定な就労、賃金の低下等、働く環境が厳しくなる中、失業や病気等の理由で働けなくなり、その日の食べ物にも困っている人達が少しずつ増えています。特に最近、子どもの6人に一人が貧困の中で成長しているというデータが発表されました。

私達、フードバンク関西は、上記の両端をボランティア活動で繋いで、まだ食べられるのに大量に廃棄されているこれらの「もったいない」食品を、企業や個人の皆様から寄付していただき、それらを「支援を必要とする人達を支える団体」に運んで無償で分配し、食べ物として再活用していただく活動、即ちフードバンク事業を、2003年4月から開始しました。現在は、芦屋市呉川町に事務所と倉庫を置き、約70人のボランティアが手分けをして、年間約180トンの食品を、企業や個人の皆さまから回収、検品仕分けして、支援を必要とする人達へ届ける作業を引き受けて活動しています。デリバリーは月延べ100回以上、毎日3、4台のボランティアの車が食糧を積んで街中を走っています。

集まった食品は下記の4つの方法で、食べ物として大切に活用され、本来の価値を全うします。

一つ目は、児童養護施設、母子生活支援施設、障害者の通所施設や共同生活ホーム、ホームレス支援団体等の福祉施設や団体100か所以上に月1回から3回の頻度で食品搬送を行い、施設での給食、炊き出し、自炊用の食材等として活用していただいています。

二つ目は、芦屋、尼崎、伊丹、川西、西宮、宝塚の市や社会福祉協議会、県から委託を受けた団体と協働して、行政の相談窓口を訪れた困窮する市民の中から、特に緊急支援が必要な人達へ食糧をお渡しする「食のセーフティネット」事業での活用です。平成27年度1年間に288件の緊急食糧支援を行い、私達が取り扱っている食品を、命をつなぐ大切な食糧として活用していただきました。

三つ目は、他の複数のNPO法人と協働して、貧困の中で子育てをする片親世帯に、宅配便を利用して毎月1回食糧を届ける「子供元気ネットワーク」事業での活用です。お母さん達からは「暮らしに追われる中、食品がいっぱい詰まった箱が届くと心からホッと安心する。子ども達がとても楽しみにしている。」等のコメントを寄せていただいています。

そして四つ目は、「フードバンクと子ども食堂との連携」事業での活用です。子ども食堂とは、週に一回程度、地域のボランティアが、食材を集め調理して、一人で食事をしている子ども達に呼び掛けて、温かな手作りごはんをみんなで一緒に食べようという企画です。この子ども食堂で使う食材をフードバンク関西が支援していこうというものです。

これらの活動を継続するためには年間約800万円の運営費が必要ですが、フードバンク事業は収益が全くないので、これらは、活動趣旨に賛同して下さる市民や団体の皆様の賛助会費、寄付で賄っています。毎年、運営費の調達に苦労しますが、多数の皆様のご支援を背に受けて「食べ物は命の糧、大切にしたい」という思いを込めて、活動をさらに拡充していきたいと考えています。



6,7,8月のイベントだより

発達障害セミナー ソーシャルスキルって何だろう？その意味について考える

日時 7月10日(日)10:15~12:15 (受付:10:00~)
会場 木口記念会館 1階多目的ホール
対象 未就学~小学生の子どもを持つ保護者、指導者
定員 50名(要予約)
参加費 無料
主催 NPO法人あっとオーティズム
連絡先 ☎090-8193-2920(高木)

親子の絆が生まれる食育教室(全6回)

近年、子供や高齢者の孤食が多くなっており、家族のコミュニケーション不足や栄養が偏るといった問題が起こっています。そうした問題を解決するために栄養バランスが取れる簡単な料理やお菓子を作りながら食育の大切さについてお教えします。

第1回 「鶏肉と茄子のトマトソース煮込み」「シンプルパスタ バターソース」
6月23日(木)11:00~13:30(受付:10:30~)
第2回 「なすのキーマカレー」
7月31日(日)11:00~13:30(受付:10:30~)
第3回 「アーモンドキャラメルラスク」「チョコスティックパイ」
8月28日(日)11:00~13:30(受付:10:30~)
会場 木口記念会館 1階多目的ホール
参加費 各回500円(材料費)
主催 アースクラウン
連絡先 ☎080-4011-8681(生駒)

さをりバザー

利用者さんが作った『さをり織り』の製品を展示・販売いたします

日時 8月4日(木)、5日(金)10:00~16:00 6日(土)10:00~15:00
会場 木口記念会館 1階多目的ホール
入場 無料
主催 社会福祉法人芦屋メンタルサポートセンター
就労継続支援B型事業所「ライラック」
連絡先 ☎0797-32-0441(ライラック)

木口記念会館だより 第20号

発行日 平成28年6月17日

発行人 公益財団法人木口福祉財団

連絡先

兵庫県芦屋市呉川町14-10

木口記念会館

Tel 0797-35-5262 URL <http://kiguchi.or.jp>